

## 総務省行政事業レビュー 外部有識者会合 議事概要

日時：平成30年4月20日（金）～5月18日（金）※持ち回り開催

議題：公開プロセス対象事業の選定について

出席者：有川 博 愛国学園大学人間文化学部教授  
石井 雅也 太陽有限責任監査法人 パートナー  
上村 敏之 関西学院大学経済学部教授  
北大路信郷 (株)政策情報システム研究所 代表取締役所長  
楠 茂樹 上智大学法科大学院教授  
瀧川 哲也 ポストンコンサルティンググループ  
パートナー&マネージング・ディレクター  
田中 秀幸 東京大学大学院情報学環長・学際情報学府長  
西出 順郎 明治大学専門職大学院ガバナンス研究科教授

### 【議事概要】

#### 1. 事務局説明

平成30年度総務省行政事業レビュー公開プロセスの実施について、事務局より、候補事業、実施方法、スケジュール等について説明。

#### 2. 事業の選定について

各委員からの主なコメントは以下のとおり。

- 地域おこし協力隊の推進に要する経費
  - ・ 定住が目的なのか。外部から来た人が起爆剤となって地元の活性化に繋がれば良いのだが。
  - ・ アウトカムが適切とは思えない。
  - ・ 特別交付税以外の1.4億円の議論で、どこまで踏み込めるか。
  
- 参加・実践等を通じた政治意識向上に要する経費
  - ・ 文部科学省との役割分担はどうなるのか。文部科学省がメインになってしまうのでは。
  - ・ 海外の状況はどうか。
  - ・ 若者に対しては期間限定なのか。何を目標にして、何が成果になるのか、漠然と教育しているのではないか。

- 情報システム高度化等推進事業
  - ・ セキュリティ研修等は総務省だけの問題という訳ではない。全省庁横串で見るところがあると良い。
  - ・ 検討結果は他省庁の参考になるかもしれない。
- 全省庁的統一資格審査実施経費
  - ・ 入札情報は各省庁個別に管理されているが、自治体も含めて一元的に情報提供ができるとよい。
  - ・ システムの改修の際はベンダーの言い値になってしまう傾向がある。
- 標準電波による無線局への高精度周波数の提供
  - ・ 今後社会で IoT 等電波が使われる機会が増える中で標準電波がどのように使われるのか。
  - ・ 海外ではどのように運用されているのか。民間に運用を任せている国はあるのか。
  - ・ 電波関係はそもそも技術を持つ企業が少なく一社応札や随契になってしまうことが多い。
- 独立行政法人統計センター運営費交付金
  - ・ どこまで効率的に業務を行っているか、外部から見ただけで議論するのは難しい。
  - ・ 統計センター内で直接実施しなければいけない業務がどこまであるのか議論してみたい。
  - ・ EBPM の観点からも興味がある。
  - ・ 日本の統計データは見劣りする。

### 3. 選定結果

投票の結果、以下の3事業を公開プロセスの対象とすることで了承となった。

- 地域おこし協力隊の推進に要する経費
- 標準電波による無線局への高精度周波数の提供
- 独立行政法人統計センター運営費交付金